



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社近鉄エクスプレス  
コード番号 9375 URL <http://www.kwe.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石崎 哲  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 乾 和雄 (TEL) 03-6863-6445  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	134,121	5.4	6,238	△7.5	6,805	△7.6	4,064	△15.9
25年3月期第2四半期	127,203	△6.5	6,744	1.3	7,361	3.9	4,835	2.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 10,874百万円(105.1%) 25年3月期第2四半期 5,303百万円(△3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	112.90	—
25年3月期第2四半期	134.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	152,724	102,013	65.2	2,766.54
25年3月期	140,116	92,197	64.3	2,501.11

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 99,593百万円 25年3月期 90,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	22.00	37.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	8.9	14,500	9.1	14,500	2.0	9,200	0.7	255.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期2Q	36,000,000株	25年3月期	36,000,000株
② 期末自己株式数	714株	25年3月期	714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	35,999,286株	25年3月期2Q	35,999,286株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の詳細に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因につき大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成25年11月8日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、後日当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）（以下、当第2四半期という。）における世界経済は、米国では緩やかな回復基調となり欧州でも底入れ感が見られはじめましたが、中国および新興国では成長のテンポが減速するなど、先行き不透明な状況が続きました。

我が国経済は、輸出が伸び悩みましたが、政府の各種政策への期待や効果の発現から、景況感の改善が徐々に見られはじめました。

当社グループが主に関わる国際物流市場では、航空貨物輸送においては輸送需要の回復が見られず、全体的に低調に推移しました。

このような状況の中、当第2四半期の当社グループ全体の取扱物量につきましては、航空貨物輸送は輸出重量で前年同期比11.4%減、輸入件数で同11.3%減となり、海上貨物輸送は、輸出容積で同17.1%増、輸入件数で同0.1%減となりました。また、ロジスティクスにつきましては、地域間で取扱いに差が見られ、全体的には伸び悩みました。

上記のとおり、航空貨物輸送につきましては低調に推移しましたが、海上貨物輸送につきましてはグループを挙げて営業活動を推進した結果、取扱いは順調に増加しました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

## &lt;日本&gt;

航空輸出貨物は、自動車関連品やスマートフォン関連品で堅調な荷動きとなりましたが、その他の品目では輸送需要の回復が見られず、取扱重量は前年同期比10.6%減となりました。航空輸入貨物は、スマートフォン関連品やメディカル関連品で取扱いが増加しましたが、その他の品目では勢いが見られず、取扱件数は前年同期比2.8%減となりました。海上貨物は、輸出では設備関連や化成品、液晶部材等の出荷が増加し、取扱容積で前年同期比22.8%増となり、輸入ではソーラーパネルやパソコン周辺機器等の取扱いが増加し、取扱件数で同8.3%増となりました。ロジスティクスにつきましては、通信機器関連品で荷動きが鈍く、取扱いが減少しました。

この結果、国内関係会社を含めた日本全体の営業収入は50,696百万円（前年同期比1.6%減）となり、営業利益は2,229百万円（同12.1%増）となりました。

## &lt;米州&gt;

航空輸出貨物は、メディカル関連品や生鮮食料品で堅調な荷動きとなりましたが、全体としては活況感に乏しく、取扱重量は前年同期比3.5%減となりました。航空輸入貨物は、エレクトロニクス関連品や光学関連品の輸送需要が減少し、取扱件数で前年同期比19.2%減となりました。海上貨物は、輸出では航空機関連品や穀物の取扱いが増加し、取扱容積で前年同期比23.5%増となり、輸入では自動車関連品や半導体製造装置等の取扱い増加により、取扱件数で同9.1%増となりました。ロジスティクスにつきましては、カナダでのビジネスが順調に拡大し、全体として取扱いが増加しました。

この結果、米州全体の営業収入は18,870百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益は1,008百万円（同2.3%減）となりました。

なお、1米ドルあたりの円換算レートは、当第2四半期が95.59円、前年同四半期が79.74円であります。

## &lt;欧州・中近東・アフリカ&gt;

航空輸出貨物は、自動車関連品の緊急出荷やスポット貨物の取扱いが増加したことにより、取扱重量は前年同期比2.3%増となりました。航空輸入貨物は、エレクトロニクス関連品などで低調な荷動きとなり、取扱件数は前年同期比19.6%減となりました。海上貨物は、輸出ではプラント関連輸送の取扱い拡大や新規ビジネスの獲得等により、取扱容積で前年同期比53.2%増となりましたが、輸入では化学品やメディカル関連品が減少し、取扱件数は同23.1%減となりました。ロジスティクスにつきましては、ロシアでの新規ビジネス獲得等により、取扱いが増加しました。

この結果、欧州・中近東・アフリカ全体の営業収入は15,417百万円（前年同期比26.6%増）、営業利益は374百万円（同65.6%増）となりました。

なお、1ユーロあたりの円換算レートは、当第2四半期が125.50円、前年同四半期が103.45円であります。

## &lt;東アジア・オセアニア&gt;

航空輸出貨物は、エレクトロニクスを中心とした大手顧客の輸送需要に回復が見られず、取扱重量は前年同期比18.3%減となりました。航空輸入貨物につきましても、同様にエレクトロニクス関連品の物量が減少し、取扱件数は前年同期比10.9%減となりました。海上貨物は、輸出ではソーラーパネルやノートパソコン等の堅調な荷動きにより、取扱容積で前年同期比5.5%増となりましたが、輸入ではエレクトロニクス関連品で勢いが見られず、取扱件数で同1.9%減となりました。ロジスティクスにつきましては、韓国での取扱いが拡大しましたが、その他の地域では在庫調整もあり、取扱いが伸び悩みました。

この結果、東アジア・オセアニア全体の営業収入は38,356百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は1,873百万円（同26.5%減）となりました。

## ＜東南アジア＞

航空輸出貨物は、エレクトロニクス関連品の物量減少やタイの洪水の影響による緊急輸送の反動により、取扱重量は前年同期比13.0%減となりました。航空輸入貨物は、輸出同様にエレクトロニクス関連品の物量減少や緊急輸送の反動により、取扱件数は前年同期比16.8%減となりました。海上貨物は、輸出で自動車関連品や農産物の取扱い増加により、取扱容積で前年同期比30.6%増となりましたが、輸入ではエレクトロニクス関連品で物量が減少し、取扱件数で同11.5%減となりました。ロジスティクスにつきましては、タイ及びインドでのビジネスが順調に拡大し、全体として取扱いが増加しました。

この結果、東南アジア全体の営業収入は13,491百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は454百万円（同40.2%減）となりました。

以上のとおり、世界経済の本格的な回復が見られず輸送需要が伸び悩む中、当社グループは一体となって営業活動を推進し、加えて固定費、流動費の抑制を継続して実施してまいりましたが、当第2四半期の営業収入は134,121百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は6,238百万円（同7.5%減）、経常利益は6,805百万円（同7.6%減）、四半期純利益は4,064百万円（同15.9%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末（以下、当第2四半期末という。）における総資産は、前連結会計年度末（以下、前期末という。）から12,608百万円増加し、152,724百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が5,857百万円、受取手形及び営業未収入金が4,182百万円増加したこと等により、10,278百万円増加いたしました。固定資産は、有形固定資産が1,101百万円、投資その他の資産が1,247百万円増加したこと等により、2,330百万円増加いたしました。

当第2四半期末における負債合計は、前期末から2,792百万円増加し、50,711百万円となりました。流動負債は、支払手形及び営業未払金が938百万円増加した一方、短期借入金が4,401百万円減少したこと等により、2,392百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が4,559百万円増加したこと等により、5,184百万円増加いたしました。

当第2四半期末における純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加等により、前期末から9,816百万円増加し、102,013百万円となりました。この結果、自己資本比率は65.2%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末から5,955百万円増加し、44,226百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して1,005百万円増加し、4,854百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益6,564百万円、減価償却費1,284百万円等による資金の増加と、仕入債務の減少額1,217百万円、法人税等の支払額2,224百万円等による資金の減少によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して5,615百万円減少し、1,144百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入2,849百万円等による資金の増加と、定期預金の預入による支出2,327百万円、有形固定資産の取得による支出1,061百万円、敷金及び保証金の差入による支出976百万円等による資金の減少によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して2,792百万円増加し、1,229百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入4,785百万円等による資金の増加と、短期借入金の純増減額376百万円、長期借入金の返済による支出4,481百万円、配当金の支払額791百万円、少数株主への配当金の支払額292百万円等による資金の減少によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国、欧州での本格的な景気回復にはなお時間を要すると思われ、また、中国および新興国での成長減速に対する懸念など、引き続き不透明な環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは、今期を初年度とする中期経営計画“Ready for the Next! Phase 2（未来への挑戦—さらなる飛躍へ）”（平成26年3月期～平成28年3月期、3ヵ年）で掲げた、1. バランスの取れた事業構成の構築と重点品目の取扱い拡大、2. 成長する新興国でのプレゼンスの向上、3. オフショア販売の強化と効率性を追求した高品質なオペレーションの構築の3つの戦略の柱に沿った諸施策に着実に取り組んでまいります。

当社グループの業績は、世界景気、為替の動向などにより変動する可能性もありますが、現時点の平成26年3月期の業績予想は平成25年5月9日に公表したとおり、営業収入は270,000百万円（前期比8.9%増）、営業利益は14,500百万円（同9.1%増）、経常利益は14,500百万円（同2.0%増）、当期純利益は9,200百万円（同0.7%増）を見込んでおり、変更はありません。

（注）業績の予想に関する注意事項

上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,541	47,398
受取手形及び営業未収入金	46,440	50,622
その他	4,489	4,749
貸倒引当金	△319	△341
流動資産合計	92,151	102,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,241	18,620
土地	10,814	11,073
その他（純額）	3,456	3,919
有形固定資産合計	32,512	33,613
無形固定資産		
のれん	389	405
その他	1,074	1,039
無形固定資産合計	1,463	1,444
投資その他の資産	13,988	15,235
固定資産合計	47,964	50,294
資産合計	140,116	152,724
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	19,759	20,698
短期借入金	13,098	8,697
未払法人税等	1,282	1,541
賞与引当金	1,866	2,113
役員賞与引当金	208	71
その他	8,043	8,744
流動負債合計	44,259	41,867
固定負債		
長期借入金	1,000	5,559
退職給付引当金	1,955	2,293
その他	704	991
固定負債合計	3,659	8,844
負債合計	47,919	50,711

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,216	7,216
資本剰余金	4,867	4,867
利益剰余金	80,565	83,837
自己株式	△1	△1
株主資本合計	92,646	95,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	643	1,076
為替換算調整勘定	△3,251	2,598
その他の包括利益累計額合計	△2,608	3,674
少数株主持分	2,159	2,420
純資産合計	92,197	102,013
負債純資産合計	140,116	152,724



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収入	127,203	134,121
営業原価	105,673	111,841
営業総利益	21,530	22,280
販売費及び一般管理費	14,786	16,041
営業利益	6,744	6,238
営業外収益		
受取利息	152	186
受取配当金	8	11
負ののれん償却額	17	17
持分法による投資利益	52	—
為替差益	423	343
雑収入	106	160
営業外収益合計	761	720
営業外費用		
支払利息	134	115
持分法による投資損失	—	4
雑支出	9	33
営業外費用合計	144	153
経常利益	7,361	6,805
特別利益		
固定資産売却益	9	44
特別利益合計	9	44
特別損失		
固定資産除却損	1	67
投資有価証券評価損	5	217
子会社清算損	2	—
ゴルフ会員権評価損	6	—
賃貸借契約解約損	118	—
特別損失合計	134	284
税金等調整前四半期純利益	7,236	6,564
法人税等	2,146	2,260
少数株主損益調整前四半期純利益	5,090	4,304
少数株主利益	255	240
四半期純利益	4,835	4,064

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,090	4,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	433
為替換算調整勘定	282	5,943
持分法適用会社に対する持分相当額	—	193
その他の包括利益合計	212	6,570
四半期包括利益	5,303	10,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,016	10,347
少数株主に係る四半期包括利益	286	527

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,236	6,564
減価償却費	1,262	1,284
のれん償却額	31	33
負ののれん償却額	△17	△17
賞与引当金の増減額（△は減少）	129	106
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△136	△147
退職給付引当金の増減額（△は減少）	344	308
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△12	△0
米国独禁法関連引当金の増減額（△は減少）	△48	—
受取利息及び受取配当金	△160	△198
支払利息	134	115
持分法による投資損益（△は益）	△52	4
固定資産売却損益（△は益）	△9	△47
固定資産除却損	1	67
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	5	217
ゴルフ会員権評価損	6	—
賃貸借契約解約損	118	—
子会社清算損益（△は益）	2	—
売上債権の増減額（△は増加）	△438	△386
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,734	△1,217
その他	△305	292
小計	6,356	6,981
利息及び配当金の受取額	181	219
利息の支払額	△139	△120
法人税等の支払額	△2,548	△2,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,849	4,854
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,201	△2,327
定期預金の払戻による収入	596	2,849
有形固定資産の取得による支出	△589	△1,061
有形固定資産の売却による収入	35	80
投資有価証券の取得による支出	△4,386	△55
投資有価証券の売却及び償還による収入	23	36
子会社株式の取得による支出	—	△99
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	7	38
敷金及び保証金の差入による支出	△207	△976
敷金及び保証金の回収による収入	237	175
その他	△276	196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,759	△1,144

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,945	△376
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△88	△72
長期借入れによる収入	1,000	4,785
長期借入金の返済による支出	△169	△4,481
配当金の支払額	△719	△791
少数株主への配当金の支払額	△404	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,563	△1,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	536	3,474
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△810	5,955
現金及び現金同等物の期首残高	36,096	38,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,285	44,226

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）  
報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	日本	米州	欧州・ 中近東・ アフリカ	東アジア・ オセアニア	東南 アジア	計				
営業収入										
外部顧客への 営業収入	50,809	15,259	11,797	36,576	12,612	127,055	148	127,203	-	127,203
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	723	791	382	322	167	2,386	821	3,208	△3,208	-
計	51,532	16,050	12,180	36,898	12,779	129,442	969	130,411	△3,208	127,203
セグメント利益	1,988	1,032	225	2,548	760	6,555	202	6,757	△13	6,744

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	日本	米州	欧州・ 中近東・ アフリカ	東アジア・ オセアニア	東南 アジア	計				
営業収入										
外部顧客への 営業収入	49,738	17,966	15,012	37,963	13,274	133,955	166	134,121	-	134,121
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	958	903	405	392	217	2,876	908	3,785	△3,785	-
計	50,696	18,870	15,417	38,356	13,491	136,832	1,074	137,907	△3,785	134,121
セグメント利益	2,229	1,008	374	1,873	454	5,941	296	6,237	1	6,238

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム